

静岡県議会議員

田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053-447-3820  
夜 053-440-7100

平成 24 年 3 月 17 日

創ろう！元気な浜松&静岡県

# 中長期を見すえ5分野に重点

## 平成 24 年度当初予算などを決定し 静岡県議会2月定例会閉会

3 月 16 日、静岡県議会 2 月定例会は最終日を迎え、「副知事選任議案」は否決、平成 24 年度当初予算など他の 90 議案は全会派一致で可決決定しました。

最大の目玉の平成 24 年度予算の規模は「一般会計」で 1 兆 1306 億円、「企業会計」と「特別会計」を加えた「総会計」では 1 兆 6051 億円となっています。

24 年度は喫緊の課題である次の 5 分野を重点に取り組みます。

### 1. 雇用対策(事業費 439 億円)

雇用のミスマッチ解消事業に努め、3 万人の雇用創造を目標とした「雇用創造アクションプラン」に基づき、成長産業の育成や就労支援による人材供給を進める。

### 2. 少子化対策(事業費 127 億円)

平成 22 年の出生率は 1.54 で、平成 16 年の 1.37 を底に回復基調だが人口維持水準の 2.07 には程遠い状況。妊娠期の母親への相談支援の充実や子ども医療費助成、待機児童解消などを進める。

### 3. 地震・津波対策(事業費 236 億円)

県の津波対策は前倒しで実施。市町の津波対策への助成はこれまでの補助上減額を撤廃し拡充するなど積極的に支援する。第 4 次地震被害想定は、国の調査に基づき、新たな災害要因の分析や被害予想を取りまとめ、来年 6 月を目途に策定する。

### 4. エネルギーの地産地消(事業費 21 億円)

太陽光発電設備の導入支援制度を拡充するほか、農業用水路を活用した小水力発電導入も支援する。

### 5. 内陸フロンティアの魅力ある地域づくり(事業費 41 億円)

新東名高速開通にあわせ、IC付近の工業用地開発調査や観光交流の促進など、新たな地域づくりを進める。

なお川勝平太知事は、これらの取り組みを「現場主義」で進めるために「“移動知事室”を始める」としています。現場実態を踏まえたスピーディな取り組みに期待します。



## ◆24年度の主要取り組み

「総合計画」を前倒して実現すべく、各項目ごとに次のようなテーマに取り組みます。  
(数字の項目は「総合計画」の項目です)

### 1 「命」を守る危機管理

- ・ 住宅耐震化の推進
- ・ 防災通信ネットワークの構築

### 2-1 「有徳の人」づくり

- ・ 静岡式 35 人学級の拡充
- ・ 県立大学での新たな研究拠点整備

### 2-2 「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり

- ・ 富士山世界文化遺産登録に向けた取り組み推進
- ・ 観光交流の促進
- ・ 地域外交推進
- ・ 戦略物流ビジョンによるネットワーク形成

### 3-1 一流の「ものづくり」と「ものづかい」の創造

- ・ 新産業創出プロジェクトの推進
- ・ 企業誘致の推進
- ・ 食と農の改革の推進
- ・ 「浜名湖花博 10 周年記念事業」計画策定

### 3-2 「和」を尊重する暮らしの形成

- ・ 家・庭一体の住まいづくりの推進
- ・ 野生鳥獣被害対策強化

### 3-3 「安心」の健康福祉の実現

- ・ 安心医療の提供と健康づくりの推進
- ・ 障がい者の自律と社会参加への支援
- ・ いきいき長寿社会の実現

### 4-1 ヒトモノ地域を結ぶ「基盤」づくり

- ・ 都市基盤整備  
(草薙総合運動場・東部コンベンションセンター等)
- ・ 交通ネットワークビジョンの実現に向けた取り組み
- ・ 森林・林業再生

### 4-2 「安全」な生活と交通の確保

- ・ 犯罪のおきにくい社会づくり
- ・ 交通事故抑止対策

### 4-3 地域主権を拓く「行政経営」

- ・ 外郭団体や出先機関等の改革
- ・ ファシリティマネジメントの導入
- ・ 「教育行政のあり方検討会(仮称)」の設置

## ◆「副知事選任議案」は否決

### —— 臨時議会開催へ ——

静岡県の副知事は、これまで2人体制でしたが、昨年末に1人が総務省に帰任したため、1人だけとなっていました。

条例で認められた副知事は3人迄となっていることから、知事は新たに2人を選任し「副知事3人制」にする議案を提出しました。

しかし最大会派が「行財政改革に逆行する」などを理由に反対の意向を示す中、採決前日に、現職の副知事が辞職願を提出する異例の事態になり、議決の行方は最終日までわからない状況になりました。

私は「本来、人事は首長の専権事項」であることや「地震津波対策や新東名の活用、雇用対策など山積する緊急課題へのスピーディな対応」、また「総額人件費はコスト管理すべきだが、副知事など個別の人事をコストで評価すべきではない」と考え、本議案に賛成しました(3人制でも賛成するつもりでした)。

採決の結果は 30vs37 で否決となりました。

このままでは4月以降、副知事0人の異常事態となることから、早晩、臨時議会を開催し、再度、副知事選任議案を議論する予定です。

不毛の議論をするのでなく、県民のための政治を進めねば…との意を新たにしました。

## ◆待ったナシ！教育委員会改革

不祥事が続いた平成23年度の県教育委員会。24年度には、「教育行政のあり方検討会(仮称)」が設置される見込みです。

教育委員会は首長から独立した組織。リーダーは「教育委員長」ですが、非常勤であり、実質的には事務方のトップである「教育長」が教育行政のイニシアチブを握っています。

知事は、2月議会で、安倍 徹 現・教育長の再任を提案し、議会も同意しましたが、異論も出されました。

教育委員会の自己改革はできるのか？  
安倍教育長の手腕が試されます。

## ◆気になる県の財政状況

### ○2兆 6105 億円に膨らむ県債残高

最も懸念するのは「県債残高」です。

「一般会計」の県債発行額は前年比 63 億円増の 705 億円。この他に「臨時財政対策債」が前年比 20 億円増の 1220 億円あります。

県が管理指標にしている「通常債」は平成 23 年度末見込の 1 兆 8821 億円から、平成 24 年度末には 1 兆 8339 億円に減る見込みですが、「臨時財政対策債」などを含めた一般会計全体では、2 兆 5499 億円→2 兆 6105 億円と増える見込みです。

「臨時財政対策債」は“役所の理論”では「交付税に換わるもので、県自らコントロールできないのでやむを得ない」ということですが、県民目線で見ると、本当にそれでよいのでしょうか…。

私たちの家計や企業の会計は、普通「入るを以て出ざるを制す」です。行政はどうやら「出ざるを以て入るを制す」のようですが、“身の丈”にふさわしいおカネの使い方を心がけないといけません。

ちなみに、12 月議会で取り上げた「退職手当債」は、来年度も 60 億円発行します(23 年度は 2 月補正で 80 億円に減額)。

子どもや孫におカネを借りているようなものです。県債は引き続き厳しくチェックしていきます。

## ◆行財政改革は意識改革から

### ○「金利10%」ではダメでしょう

行財政改革については、「ファシリティマネジメント(資産経営)」の導入や「CIO(情報統括)補佐官」の登用など、私たちの提言を取り入れており、こうした取り組みには大いに期待します。

一方、前述のようなおカネの使い方を含め、まだまだ“意識改革”を進めなければいけないところが多いと感じました。

そのひとつが「金利 10%」。予算では、県債発行(借金)にあたっての金利の上限を定めているのですが、「この低金利のご時世に、いったいどこで借りるの？」とあきれてしまいました。

聞けば、「昭和 30 年代から同じ数字で提案しています」とのこと。

もちろん、実質的には長期(30 年もの)で約 2%程度と、妥当な金利で調達しているのですが、まさに「これまでやってきたことを、これまでどおりにやる」典型だと思います。

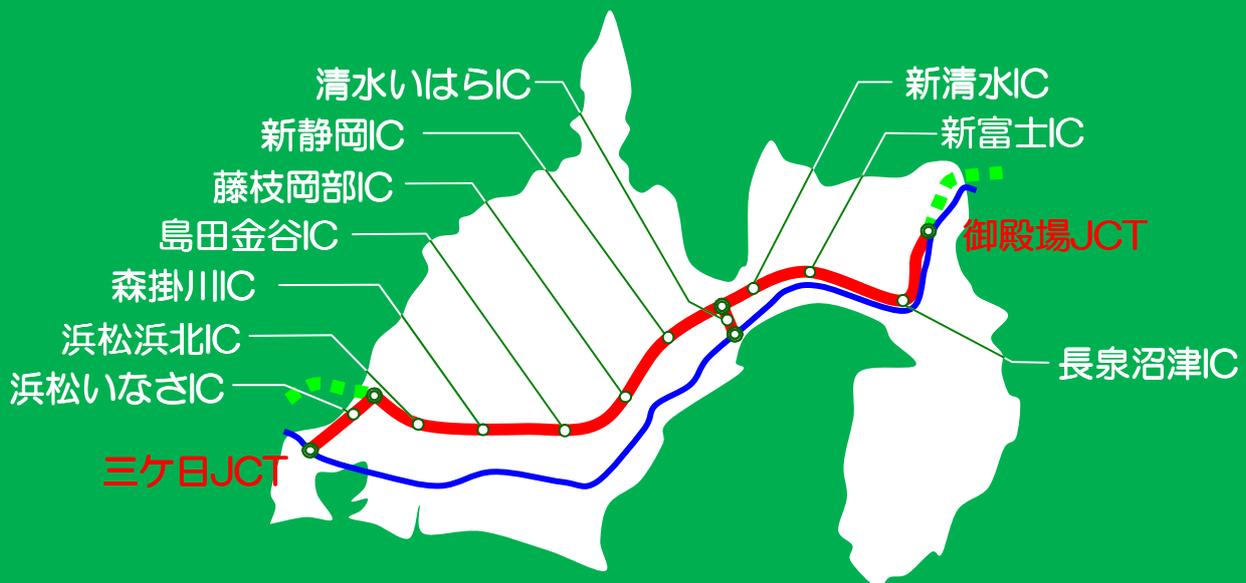
来年度どうなっているか、楽しみにします。

また、もうひとつ挙げれば「業務効率化を進めて時間外労働を減らそう」という姿勢も見えませんでした。

「財政は非常に厳しい状況」ということを県庁全体で共有化しているとは思えません。こうした意識改革を進めていかないとはいけません。

## 4/14(土)15 時 いよいよ開通！新東名高速道路

県民の利便性の向上だけでなく、県内経済の活性化や防災機能アップに期待が広がります。





遠鉄百貨店で行われた「遠州織物夏服デザインコンテスト」の最終審査会に参加しました。

近年「クールビズ」が流行っていますが、沖縄の“かりゆし”のような日本の夏にふさわしいドレスコードを創造しようという、川勝平太知事の肝いり事業です。

コンセプトは「サムライ・扇子」の2つ。これをキーワードにビジネスマンが仕事で着れるフォーマルな夏服を、遠州織物を素材にして県内外のデザイナーが競いました。

私は服には無頓着で、デザインも門外漢ではありますが、「イイものはイイ」というのはよくわかりましたし、やすとも市長や磐田の渡部市長もモデルで登場するなど、演出もGOODでした。

グランプリ作品は遠州綿紬の素材を活かしたシンプルなデザインでした。

今後、静岡県職員が制服として使うことも検討されています。今のまま販売すると価格が高つくようですが、なんとか日の目を見せたいものです。今年の夏にむけて、ちょっと楽しい話題です。

審査員長のワダ・エミさんとトークを楽しんだ川勝知事は、継続開催にも言及していました。

折しも予算審議中ですが、この事業、23年度の県予算では1600万円を計上されており、24年度予算案も同額の1600万円が提案されていました。

ワダ・エミさんは「事業化には最低3年はかかる」とおっしゃっていましたが、今後どう進めていくか…これも楽しみです。

\*写真はコンテストの一幕です。

右端のモデルは鈴木康友 浜松市長。グランプリを受賞した作品です。その隣は渡部修 磐田市長。その他、サラリーマンや企業経営者など地元イケメンのみなさんがモデルを務めました。

【日々の活動はブログをご覧ください】

## ★創ろう！元気な浜松&静岡県

田口章 で検索

## 2・3月の活動報告

～2/4(土) 海外視察

- 05(日) スズキ労組中央委員会
- 06(月) 豊橋三ヶ日道路勉強会
- 08(水) 入野地区自治連会議
- 09(木) 会派総会・新年度予算ヒアリング  
堀留川地域懇談会
- 10(金) 入野中学校立志式
- 11(土) 建国記念日式典
- 12(日) 入野地区組風協会 発会式  
浜松西政経フォーラム総会
- 14(火) 教職員組合意見交換会
- 15(水) 県政報告会
- 16(木)～17(金) 秋田県・岩手県 視察
- 19(日) スズキ社内駅伝大会
- 20(月) 県政報告会
- 21(火) 本会議(2月定例会開会)
- 22(水) 入野中学校評議員会
- 23(木) 岡山県 視察
- 25(土) 青少年健全育成会総会  
遠州織物夏服コンテスト
- 27(月) 本会議(代表質問)
- 28(火) 本会議(代表・一般質問)
- 29(水) 本会議(一般質問)
- 3/1(木) 本会議(一般質問)
- 02(金) 本会議(一般質問)
- 03(土) 入野地区社協活動報告会
- 04(日) 三遠南信道路開通式
- 05(月) 本会議(一般質問)
- 07(水) 産業委員会
- 08(木) 産業委員会
- 09(金) 産業委員会
- 11(日) 佐鳴湖クリーン作戦  
入野中学校卒業記念風揚げ
- 12(月) 総務委員会傍聴
- 16(金) 本会議(2月定例会閉会)
- 17(土) たかつか光保育園卒園式

## 3月後半活動予定

- 19(月) 入野中学校卒業式
- 24(土) 入野保育園卒園式
- 25(日) 風会所開き  
入野地区自治連期末総会

【あとがき】「副知事3人制」の議論は、みなさんにはわかりにくかったのではないのでしょうか。県民不在の議論をしてしまったことを反省するとともに、今後の議会のあり方について深く考えさせられました。県議になってやがて1年が経過します。私はあくまでも現場主義で、皆様の声を聞きながら主義主張を続けてまいります。